



No.59 2020.6.16

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクス

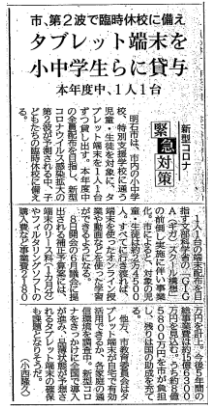
KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

ICT 教育ニュースにこんな記事が

ICT 教育ニュースをみていると「東進オンライン学校」開校、全国の小中学生を卒業まで無料招待」という記事を見つけました。前号でご紹介した「未来の教室オンラインキャラバンキックオフイベント」での浅野大介氏の説明にもあった「GIGA スクール構想」の文科省 × 「未来の教室」の経産省、文科省と経産省と一緒に協力して Society5.0 の「学びの時代」のデザインをしていくとこうした学びの場がどんどん生まれてくるのかなと思います。また6月8日の神戸新聞には「市、第2波で臨時休校に備えタブレット端末を小中学生らに貸与 本年度中1人1台」という記事がありました。

皆さんはこの東進オンライン学校の開校趣旨と神戸新聞の記事を読まれてどう思われますか？タブレット端末は“第2波での臨時休校に備えて”からだけでなく、“これからの教育の中でどう活用していくか”に一步踏み込んで考え始めるタイミングなのではと思います。熊本市の遠藤教育長が言われていた「熊本市立オンライン小中学校」は夢事ではなく、熊本のはっきりとしたビジョンだと改めて考えさせられました。これからの学校をどうデザインしていくかといった対話を校内で、そして保護者&地域のみなさん、そして子どもたちも巻き込んだ対話を始めるタイミングなのではと思います。このタイミングを逃してしまうとタブレット端末を使うことが目的になってしまうような怖さがあります。これからの学びのイメージを教師・保護者・地域住民・子どもが共有し、当事者として協働していく基礎をつくっていくための一歩として、校内でのこの記事の感想の交流から始めてみるのはいかがでしょうか？



東進オンライン学校ホームページより
AI、ICT 技術の発展と共に
今こそ『新しい教育の機会均等』を
全国の小・中学生や先生方のためにできること—

子どもをとりまく教育環境は、AI や ICT の技術の発展により大きく進歩し、その可能性は無限に広がっています。とりわけ新型コロナの影響で、ディスタンス・エデュケーションの普及が急激に進んでいます。しかし地域によってその取り組みに大きな差があるのも現状です。一方で、対面による一斉集団授業では、全員が同じ進度で同じように理解しながら授業を進めることには限界あり、つまりいてしまった生徒に対しては一人ひとり特別な対応を取られるなど、公教育の最前線で奮闘されている先生方は大変なご苦労をされています。

私ども東進は、通信衛星を活用した遠隔地教育をスタートして 30 年目となります。その間、毎年新たな技術を取り入れ、生徒たちが「オンラインで意欲的に学び、学力を伸ばす」ためのシステムを構築してまいりました。近年発展の目覚ましい AI の活用も積極的に進め、膨大な学習履歴データを元に、生徒一人ひとりに合ったカリキュラムを作成しています。これら東進の培ってきた授業やシステムが、コロナ禍で苦しむ全国の小・中学生や先生方のお役に立てるのではないかと、2020 年 4 月に、中学受験の四谷大塚とタッグを組み「全国統一オンライン講座」を開講しました。算数・数学の教科書レベルの内容

を楽しく理解できる講習に、年間を通して無料で招待するこの講習には、全国で約 23 万名の小学生・中学生が申し込みました。

子どもはより多くの生徒にしっかりと学力を身に付けてもらうために、開講後も授業のクオリティーの向上と技術的な改善を続けてきました。そして、この度、新しい「教育の機会均等」への取り組みとして、「東進オンライン学校（四谷大塚オンライン小学校/東進オンライン中学校）」を開校することとしました「全国統一オンライン講座」のわかりやすくて面白い授業と、学力を定着させるために「確認テスト」に合格してから先に進む仕組みはそのままに、新たに、世界で活躍するトップリーダーを講師に招き、将来の夢や志について考え、モチベーションを高める「未来発見講座」が新登場します。また、毎月学習の成果を確認できる「月例テスト」や、後からスタートしてもどんどん先に進める「スキップテスト」も順次加わります。進度が速い生徒に対しては「飛び級制度」を用意。テストに合格すれば一つ上の学年の授業を受けることもできます。これらの新たな取り組みも無料で提供します。

さらに、「いつでもどこでもだれにでも最新にして最高の教育を提供する」という、子どもの「教育の機会均等」の理念にもとづき、「東進オンライン小学校・中学校」をスタートするにあたって、義務教育期間であることを考慮し、小学生は卒業するまで最大 6 年間、中学生は最大 3 年間、卒業するまで上記の講座や学習の仕組みを全て無料で提供することとしました。

「東進オンライン小学校」「東進オンライン中学校」が、日本全国の小学生・中学生の学びを支え、『新しい教育の機会均等』につながることを願っております。

あわせてご覧になっていただけたら



これからの教育のあり方考える上でこれまでにご紹介させていただいた「Learn by Creation オンライン vol2: コロナ後の社会と教育の可能性 苫野一徳（教育哲学者）X 尾原 和啓（フューチャリスト）」と「未来の教室オンラインキャラバンキックオフイベント」の記録（テープ起こし）が“logmi”や“lovetech-media”のホームページにあがっています。動画だけでなく、文字で読んで見られてはいかがでしょうか。

「Learn by Creation オンライン vol2: コロナ後の社会と教育の可能性 苫

野一徳（教育哲学者）X 尾原 和啓（フューチャリスト）」

動画：<https://www.youtube.com/watch?v=SYiPFajMmrA&t=8s>

記録：<https://logmi.jp/events/2273>

「未来の教室オンラインキャラバンキックオフイベント」記録

https://www.learning-innovation.go.jp/covid_19/case20200605/

<https://lovetech-media.com/eventreport/20200608onlinemirai1/>

ネットだけでなく、この「未来の学校のつくりかた」もこれからの教育を考える上で参考になる



のではと思っています。この本では「大空小学校」、「杉並区」、「N高」、「侍学園」、「大槌町」の 5 つの取組からこれからの教育にアプローチされています。この中で、杉並区の井出前教育長の「私はよく、地域社会を『海』に、学校をそこに浮かぶ『船』にたとえるんだ……人はいるのに『社会』がない……海が枯れたら船は浮かばなくなってしまう。学校の未来を考えるためには、併せて地域社会の未来、再構築するための施策についても考えていかなくっちゃいけないんだ」という言葉はコミュニティ・スクールを進める身にとって重みを感じました。（文責：北本）